

令和4年第3回下仁田町議会定例会会議録第1号（5日）

招集年月日	令和4年9月5日								
招集の場所	下 仁 田 町 議 会 議 場								
開閉会日時 及び宣言	開 会	令和4年 9月 5日午前10時00分				副議長	千野 榮 治		
	閉 会	令和4年 9月16日午前10時14分				副議長	千野 榮 治		
議員出席状況	議席番号	氏 名	応招 不応招 別	出欠席 別	議席番号	氏 名	応招 不応招 別	出欠席 別	
応 招 12名	1	小井土 光 弘	○	○	7	佐 藤 博	○	○	
不応招 0名	2	大 手 博 幸	○	○	8	千 野 榮 治	○	○	
出 席 11名	3	佐々木 信 也	○	○	9	島 崎 紘 一	○	×	
欠 席 1名	4	岡 田 邦 敏	○	○	10	堀 口 博 志	○	○	
欠 員 0名	5	木 暮 弘 元	○	○	11	岡 田 武 二	○	○	
【凡 例】 ○応招・出席を 示す ×欠席・不応招 を示す	6	岩 崎 正 春	○	○	12	佐 藤 公 夫	○	○	
会議録署名議員	3番	佐々木 信 也	4番		岡 田 邦 敏				
職務のため議場に 出席したものの氏名	事務局 長	佐 藤 正 明			書 記	佐 藤 里 奈			
地方自治法 第121条に より説明のた め出席した者 の氏名	町 長	原 秀 男			福 祉 課 長	猪 野 と も え			
	教 育 長	里 見 立 夫			保 健 課 長	岩 井 収			
	総 務 課 長	岡 野 均			農 林 課 長	佐 藤 圭 司			
	企 画 課 長	神 戸 領 栄			商 工 観 光 課 長	林 光 一			
	住 民 税 務 課 長	下 山 光 一			建 設 水 道 課 長	荻 野 文 昭			
	会 計 課 長	岡 野 宏 巳			教 育 課 長	竹 内 誠			

議 事 日 程 別紙のとおり

会 議 に 付 し た 議 件

- 1 会議録署名議員の指名
- 2 会期の決定
町長挨拶
- 3 一般質問

会 議 の 経 過

開 会 令和4年9月5日 午前10時00分

○議会事務局長 佐藤正明 おはようございます。

本定例会は、議長欠席のため、千野副議長により進行をさせていただきます。

千野副議長、お願いいたします。

○副議長 千野榮治 議長欠席のため、副議長の私が議長をさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

それでは、議員の出席が定足数に達しておりますので、ただいまから、令和4年第3回下仁田町議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

○副議長 千野榮治 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第126条の規定によって、3番 佐々木信也君と、4番 岡田邦敏君を指名いたします。

○副議長 千野榮治 続いて、日程第2、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期については、さきの議会運営委員会で本議会の運営等について協議がされておりますので、その結果について報告を求めます。議会運営委員長

(堀口博志議会運営委員長 登壇)

○議会運営委員長 堀口博志 おはようございます。

議長のご指名がありましたので、議会運営委員長報告を申し上げます。

去る8月26日、午前10時から303委員会室において議会運営委員会

を開催し、本定例会の会期、日程及び議案の取扱い等の議会運営に関する事項について協議をいたしましたので、その経過と結果についてご報告申し上げます。

会期につきましては、本日から9月16日までの12日間とし、審議日程につきましては、お手元に配付されている日程表のとおりであります。

本日は、会議録署名議員の指名、会期の決定の後、町長のご挨拶をいただきます。

その後、一般質問を小井土光弘議員が行います。

また、一般質問終了後、全員協議会を開催し、今定例会に提出しております、「報告第4号」から「第59号議案」の細部にわたる説明をしていただき、さらに、時間内に終了しない場合は、6日に引き続き開催させていただきます。

7日は、全員協議会を開催する場合は、終了後、本会議を開催し、6日に全員協議会が終了した場合は、午前10時より本会議を開催し、「報告第4号」から「報告第6号」までを上程、一括報告の後、「第46号議案」から「議案第48号」まで上程、提案者の説明の後、採決を行います。

次に、「第49号議案」から「第53号議案」の補正予算については、上程の後、提案者の説明、質疑終了後、予算決算特別委員会に付託をいたします。

続いて、「第54号議案」から「第59号議案」の決算認定については、上程し、提案者の説明の後、監査委員から監査結果の報告をいただき、質疑終了後、予算決算特別委員会に付託し、審査をお願いすることに決しました。

8日及び9日は、予算決算特別委員会を開催していただき、10日及び11日は休日につき休会といたします。

12日、午前10時から社会経済常任委員会協議会を開催し、13日から15日は、各委員会予備日といたします。

16日は、本会議を開き、委員長から委員会審査の報告を受けた後、「第49号議案」から「第59号議案」に対するの討論、採決を行い、全日程を終了する予定でございます。

以上、この会期、日程等にご賛同を賜り、円滑な議会運営ができますよう議員各位のご協力をお願い申し上げます、委員長報告といたします。

○副議長 千野榮治 お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員長報告のとおり、お手元に配付の日程表により、本日から9月16日までの12日間にしたいと思います。これにご

異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長 千野榮治 異議なしと認めます。

したがって、本定例会の会期は、本日から9月16日までの12日間と決定いたしました。

○副議長 千野榮治 続いて、町長から定例会招集の挨拶を願います。町長
(原秀男町長 登壇)

○町長 原秀男 皆様、おはようございます。

令和4年第3回下仁田町議会定例会開会に当たり、ご指名をいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては、定例会にご参集いただき、大変ありがとうございます。

今年は、猛暑日や降雨が続き、最近になってようやく秋めいた風を感じる日も増えてまいりましたが、今後は台風シーズンに入り、一層の防災意識強化、事前準備が必要であるとの認識であります。

そのような中、下仁田こんにやく夏祭りは、恒例のみこしや盆踊りは取りやめたものの、法人会をはじめ、関係者の皆様から多大なご寄附を頂き迫力ある花火が打ち上げられ、町民の皆様と季節感を共有することができました。

さて、本定例会には、報告3件、議案7件についてご提案申し上げます。

まず、令和3年度決算に基づく健全化判断比率並びに公営企業資金不足比率についてご報告させていただきます。その後、有限会社産業開発しもにた経営状況をご報告申し上げます。

続いて、議案でございますが、まず第46号議案で、公平委員会委員の選任についてご提案申し上げます。また、第47号議案では、教育委員会委員の任命についてご審議賜りたいとするものです。

続く第49号議案から第53号議案までは、一般会計並びに国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、浄化槽整備事業の各特別会計における令和4年度補正予算について上程いたします。

そして最後に、第54号議案から第59号議案では、一般会計及び各特別会計、水道事業会計の処分を含めた決算認定についてご提案申し上げます。

後ほど担当課長より議案詳細について説明いたしますので、よろしくご審議の上、ご議決を賜りますようお願い申し上げます、結びといたします。

本日より大変お世話になります。

○副議長 千野榮治 次に、日程第3、一般質問を行います。

通告書に従いまして質問を許します。小井土光弘君

(小井土光弘議員 一般質問席へ)

○1番 小井土光弘 議席番号1番、小井土光弘、議長より一般質問の許可がいただけましたので質問させていただきます。

令和2年9月に環境のことで質問させていただきましたが、それに続いて2回目の質問でございます。

質問事項といたしまして、下仁田町のグリーントランスフォーメーション(GX)。

GXとは、経済産業省が提唱する取組の一つで、気候変動が懸念されている地球環境の保護を目指し、温室効果ガスの排出原因となっている化石燃料から脱炭素ガスや太陽光・風力発電といった再生可能エネルギーに転換して、社会経済システム全体の変革を目指すことです。

そこで、「しもにた5つのゼロ宣言」について、いわゆるゼロカーボンシティの温室効果ガス排出「ゼロ」、プラスチックごみ「ゼロ」について質問させていただきます。

「しもにた5つのゼロ宣言」について、今年7月7日に下仁田町が表明いたしました。それは、日本政府の「2050年の脱炭素社会」実現に向けての表明を受けての宣言でしょうか。

○副議長 千野榮治 町長

○町長 原秀男 お答えいたします。

2019年12月の「ぐんま5つのゼロ宣言」及び2020年環境省による「地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明」、これを受けまして、今現状を鑑みるに大変地球環境の悪化が叫ばれており、また、現実にはいろんな状況が起きております。そういうものを受け、町としても温室効果ガスゼロに向けて取組強化の必要があると考え、表明したものです。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 環境省が、2021年、令和3年6月に「地域脱炭素ロードマップ」を策定しました。2030年度までに再生可能エネルギーや省エネの組合せで二酸化炭素排出量ゼロを実現するモデルの先行地域を、2025年までに全国に100か所募集するとされています。

それで、2022年度国の予算には、先行地域に選定された自治体の財政支援に総額200億円の交付金が創設されました。これに下仁田町は応募す

る考えはありますか。

○副議長 千野榮治 町長

○町長 原秀男 あとは保健課長に答えていただきますので、よろしくお願ひします。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 お答えいたします。

昨年度の第1回応募には、官民協働や複数の自治体で応募の場合も含め、102の自治体から79件の計画提案がございましたが、うち53件はノウハウ不足等により煮詰まっていない提案が多かったとされ、26件が令和4年4月に選定されました。

当町といたしましては、まずは今年7月7日に表明した「しもにた5つのゼロ宣言」に基づき、所管である保健課だけでなく、各課を横断して実現可能なプランを作成することから始めたいと思っております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 だとすると、そういった環境を専攻する職員の登用とか、町職員に対する環境学習対策の予定はございますか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えいたします。

環境学を専攻しました職員のまずは採用についてでございますが、現時点での採用の予定はございません。

しかしながら、今後、「しもにた5つのゼロ宣言」の実現に向けた取組の中で、環境学専攻の職員が必要と判断した場合には、採用も検討してまいりたいと考えてございます。

また、町職員に対する環境対策学習会、こちらにつきましては、環境、地球温暖化対策等に向けた知識向上のために、今後開催していきたいというような形で考えてございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 昨日も上毛新聞さんのほうで、北軽井沢でSDGsのリーダー研修会が行われたとかいう記事も読んでいますので、ぜひ下仁田町もそういったことをしていただければなと思います。

また、ゼロカーボンシティの実現に向けて現在行っていることはありますか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 手始めといたしまして、「しもにた5つのゼロ宣言」のうち、

「温室効果ガス排出量ゼロ」を目指す取組の一環といたしまして、令和4年7月7日に、下仁田町で都市ガス事業を展開する東海ガス株式会社様と、「ゼロカーボンシティ実現に向けての連携協定」を締結いたしました。

今後は、エネルギーの地産地消、情報発信、小・中学生への環境教育等を官民協働で取り組んでまいりたいと考えております。

さらに、公共施設へのカーボンニュートラルガス導入に向けて準備を進めているところでございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 ゼロカーボンシティに向けて大変結構な取組だと思います。

ちなみに、下仁田町に設置してある街灯がLED化されていますけれども、その省エネ効果はいかがでしょうか。

○副議長 千野榮治 建設水道課長

○建設水道課長 荻野文昭 お答えいたします。

現在、町管理の街灯は1,086基あり、計画的なLED化は平成27年度から開始されております。令和4年度中には全てがLED化される予定です。これにより消費電力が抑えられ、二酸化炭素排出量の抑制により環境負荷軽減の効果をもたらしています。

なお、電気料での比較では、計画的にLED化を始める前の平成26年度が約452万円でしたが、ほぼLED化が進んだ令和3年度は172万円と大幅に減少しております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 今の説明で3分の1程度に減っていることが分かります。電気料の削減も重要ですが、街灯なんかは下仁田町の町民の安心・安全に直結するので、減らす方向だけでなく整備する方向もよろしくお願ひしたいと思います。

続いて、ほかの町の施設におけるLED化、省エネに対する取組はいかがでしょうか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えいたします。

町有施設におけるLED化の状況について、施設ごとの導入割合についてまずはお答えさせていただきます。

全てLED化されております町有施設ですが、役場本庁舎、そして学校給食センター、西牧防災研修施設がございます。

続きまして、施設の約7割がLED化されているものが町歴史館でござい

ます。そして、施設の約6割がLED化されているものが町保健センター及び公民館、施設の1割がLED化されているものが小学校及び中学校です。

まだLED化されていない施設としましては、役場北庁舎、町自然史館、そして、各地区の社会教育体育館等でございます。

施設の照明につきまして、今後、LED化の照明への変更を検討してまいりたいと考えてございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 街灯などでLED化された効果が検証されていますので、そういった施設の省エネを検討しているということなので、よろしく願います。

続いて、下仁田町にはアイドリングストップ条例が制定されているでしょうか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 今現在、町では制定はされてございません。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 制定されていないとすれば、「2050年に向けたぐんま5つのゼロ宣言実現条例施行規則」の定めにより、駐車スペースが500平米以上の駐車場にはアイドリングストップに関する表示を行うことが定められています。町が所有する500平米以上の駐車場は何か所あり、また、アイドリングストップに関する表示がされているでしょうか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 現在、町営駐車場及び町有施設の駐車場で500平米以上の広さの駐車場につきましては16か所ございます。そのうち、アイドリングストップ表示の看板を設置しているものは1か所でございます。ほかの駐車場につきましては、現在、設置はしてございません。

今後につきましては、表示板等の設置について検討してまいりたいと思います。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 アイドリングストップは、化石燃料の使用の削減につながるものだと思うので、ぜひよろしく願います。

続いて、カーボンニュートラル電気の利用は、町では検討していますか。また、そういった電気事業者との連携協定は検討されていますか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 現在、役場庁舎並びに教育施設等への電力供給につきまして

は、電気料金の自由化に伴い購入業者を選定する入札を行い、より安価な電気を電気事業者より購入してございます。

しかしながら、電気事業者からは、発電燃料となる石油や液化天然ガスの価格高騰により、今後、電気料金を引き上げたいというご連絡を受けてございます。カーボンニュートラル電気に切り替えた場合には、通常料金に一定額が上乗せされることとなりますので、今後の電気料金の推移も見ながら、将来に向けて検討していきたいと考えてございます。

また、電気事業者との連携協定についても、カーボンニュートラル電気への切り換えに併せて検討していければと考えてございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 分かりました。

カーボンニュートラル電気ですが、町でつくるということも可能だと思います。上水道におけるマイクロ水力発電について、藤岡市が民間の事業者と協定を締結して、浄水場から配水池への高低差40メートルを利用した発電で、一般家庭約70世帯分に相当する年間211メガワットの発電量を見込んで、年間約108トンの二酸化炭素排出量削減効果が期待できるということです。

町はそのような構想がございませうか。

○副議長 千野榮治 建設水道課長

○建設水道課長 荻野文昭 藤岡市は、民間企業に浄水場の一部を貸し、発電施設の設置や運営費用は全て民間企業が負担し、市は、FIT制度の下で、20年間の売電利益の一部と施設使用料及び固定資産税を水道事業収益とすることです。

当町の浄水場においては、その規模や費用対効果等を勘案しますと、現時点では設置は厳しい状況であると判断しております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 続いて、農地等にソーラーパネルを設置する「ソーラーシェアリング」というものがありますけれども、これはどのようなものでしょうか。

○副議長 千野榮治 農林課長

○農林課長 佐藤圭司 お答えいたします。

「ソーラーシェアリング」いわゆる「営農型太陽光発電」は、農地に支柱等を立て、その上部に太陽光発電パネルを設置して、農業生産と発電で農地を共有する取組をいいます。農地の有効活用に加え、近年増加する荒廃農地

の再生利用という観点でも期待されています。

設置には、農地法に基づく一時転用の許可が必要ですが、平成30年5月に農地転用許可の取扱いが見直され、担い手が営農する場合や荒廃農地を活用する場合等には、一時転用許可期間を3年以内から10年以内に延長されました。

さらに、令和2年度末には、荒廃農地を再生する場合はおおむね8割以上の農業収入があることといった要件を課さず、農地が適正かつ効率的に利用されているか否かで判断するよう見直しされており、国でも活用しやすい環境作りを行っております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 下仁田町ではそういった実績はございますか。

○副議長 千野榮治 農林課長

○農林課長 佐藤圭司 下仁田町には実績はございません。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 続きまして、庁用車等の化石燃料削減の対策について伺います。

現在の庁用車所有台数、そのうち電気自動車やハイブリッド車等の台数の割合、及び今後の温室効果ガス削減対策としての電気自動車や燃料電池車、ハイブリッド車、PHEV車などへの車両更新計画はありますか。

○副議長 千野榮治 総務課長

○総務課長 岡野均 お答えいたします。

現在、庁用車の保有台数でございますが、総務課で管理しております集中管理車両、こちらが12台、各課で管理しております車両が38台、合計で50台ございます。また、消防車両15台、町営バス及びスクールバス併せて12台を保有してございます。そのうち、電気自動車が1台、ハイブリッド車が4台です。その他の車両につきましては、ガソリンまたは軽油等の使用の車両となっております。

今後、ハイブリッド車両等への更新につきましては、車両入替え時に併せて検討をしていきたいと考えてございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 電気自動車については、化石燃料発電による充電では、二酸化炭素の排出場所が変わるだけで、二酸化炭素の削減に何ら貢献しない点で問題があると思います。その辺はいかがでしょうか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 お答えいたします。

解決策といたしまして、太陽光発電の電気による電気自動車の活用と、二酸化炭素と水素から人工的に作られる合成燃料やバイオディーゼルなどがあります。二酸化炭素排出削減のアイテムとして注視していきたいと思っております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 そうですね。合成燃料などを使えば既存の内燃機関車もエコカーになり得ると思っております。また、既存のインフラがそのまま使えるというメリットもあります。

余談ではございますが、今年、世界ラリー選手権というのが11月に愛知県のほうで行われるんですけども、それが22年度より100%の合成燃料で行われるそうです。そういった競技車もエコカーになっている。もう技術的には可能なことなので、あとは量産体制を整えば値段なんかも下がってくると思っておりますので、そういったものも利用することを考えてはいかがかと思っております。

続きまして、「しもにた5つのゼロ宣言」の中でプラスチックごみ「ゼロ」がありますが、現在の下仁田町のごみの排出量はどのくらいでしょうか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 令和2年度のデータでございますが、1人1日当たり、県内市町村の中で排出量の少ない順で、下仁田町は第2位の768グラムでございます。

ちなみに、1位は甘楽町で593グラム、3位が板倉町で770グラムでございます。群馬県平均は990グラムですが、これは全国都道府県で第42位となっております。

少ない順で県内2位のごみ排出量である理由は、少子高齢化の影響でごみを出す量も減少しているとは思われますが、総じて、ごみ袋の有料化や細かな分別収集を行っている自治体ほど、ごみ排出量が少ない傾向があるようにございます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 ちなみに、ごみのリサイクル率はいかがですか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 令和2年度実績でございますが、10.3%となります。これは県内35市町村中31位です。群馬県平均が14.3%となっております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 2001年、平成13年度にはリサイクル率が24.9%と
のことでしたが、下落した理由はどのようなことが考えられますか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 複合的な要因が考えられますが、原因の一つとして、有価物
集団回収、いわゆる廃品回収による回収量の減少が挙げられます。ピーク時
には年間350トンもの回収量でしたが、平成19年度に行財政改
革の一環として行われた補助金単価削減、これはキロ当たり8円を5円に減
少ですが、これの影響や、小学校統合による学校単位の回収減少や回収団体
減少もあり、令和3年度には回収量が30トンまで減少しており、少なから
ずリサイクル率下落に影響があったと考えられます。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 リサイクル率の向上のための対策はいかがですか。

○副議長 千野榮治 保健課長

○保健課長 岩井収 2022年、令和4年4月の「プラスチック資源促進法施行」
をきっかけといたしまして、プラスチック製品の分別収集の検討や従来の分
別収集の周知徹底を図ること、及び集団回収の促進などが考えられます。

併せまして、各家庭における3Rの徹底や、そもそも、リサイクル率を算
出する上で分母となるごみ排出量を減少させるためにも、各ご家庭において
詰め替え商品や簡易包装の商品を選ぶことや、無駄な買い物を控えるなどを
徹底することも大切だと考えております。

○副議長 千野榮治 小井土光弘君

○1番 小井土光弘 リサイクル率を向上させるためには、町民の方の理解や協力
が大変必要だと思います。その辺を細かく話し合いをしてもらって、リサイク
ル率の上昇をしていただけたらいいと思います。私もこれまで以上に3Rを
徹底していきたいと思います。

これで、大体時間になったと思いますので、一般質問を終了させていただ
きたいと思います。ありがとうございました。

○副議長 千野榮治 以上で一般質問を終結いたします。

○副議長 千野榮治 本日の日程は全部終了いたしましたので、これにて散会いた
します。

大変ご苦労さまでした。

散 会 令和4年9月5日 午前10時38分